

節分は日にちで決まっていらない？

2月に入りましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか？私は最近、入浴剤を入れた湯船にゆつくり浸かることに幸せを感じており、温泉気分で冬の寒さも逆に楽しんでいる今日この頃です。

さて、2月の年中行事に「鬼は外、福は内」と邪気を払い、福を招き入れる豆まき、恵方巻きやひいらぎ飾りなどでお馴染みの「節分」があります。節分といえば、初春の2月3日の行事として思い浮かべる人も多いかと思いますが、実は今年の節分は2月2日だそうです。ん？と思った人もいらっしゃると思いますかね。

国立天文台のホームページによると、節分は季節を分けるという意味の雑節で、本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを指すものであり、そのうち立春の前日だけが年の初めであることから重視され、残ったそうです。このように節分は日付で決められているわけではなく、立春の前日を指すもので立春の日付が変われば、それに合わせて節分の日付も変わるものとなっています。では、なぜ立春の日付が変化するのかというと、これはうるう年を設けているのと同じ理由です。私たちは1年を365日ちょうどだと思いがちですが、同ホームページの解説によれば、地球が太陽のまわりを一周するには、365日と約6時間かかっており、この6時間が実際の季節と暦を次第にずらしていった



まうため、うるう年を4年に一度設けることで、季節と日付が大きくずれていかなないように調整しています。二十四節気での暦も調整で立春の日が変わり、節分の日が2月3日から2月2日になったのです。ちなみに、4年前の2021年の節分も2月2日だったのですが、覚えていましたか？話は変わり、先月号でもお知らせいたしましたし、所得税や消費税などの申告期間が2月から始まります。最近では、国税の納付手続きをスマートフォンやパソコンなどを使用して自宅などから行うことができる「e-Tax」や国税庁ホームページから申告書や青色申告決算書、収支内訳書などの作成を行う「確定申告書等作成コーナー」などの申告サービスの充実によりネットを活用した手続きも格段に利用しやすくなり便利になってきています。申告書作成相談会は何かと混み合いますので、この機会に自宅から申告書などを作成・提出できるe-Taxなどを活用してみたいかがでしょうか。

インフルエンザなどの感染症が引き続き流行しています。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心掛け、今月も元気に過ごしましょう。

市長 宮内康幸

稲刈り行事 始め行事

時曾根を歩く

最近ほとんど耳にしなくなった言葉に「事始め」「事八日」があります。2月8日をそう呼び、農業が主であった時代にはこの日に集落の行事や農作業を始める習わしがあったとされます。

時曾根区（豊栄地区）ではこの日、集落の入り口3カ所に稲わらで作った長さ3mほどの大蛇をつらし、無病息災や地域の安全、豊作などを祈る行事が行われます。



稲わらで作られた3匹の大蛇

この行事を初めて調査したのは50年以上前の昭和40年代半ばで、薄暗い会所であらにまみれながら一日がかりでこしらえた大蛇を薄暗くなった夕方、三方に分かれ、担いで行った様子がいまも残っています。当時この行事に呼び名はなく、県内で行われていた同様の行事が「辻切り」「道切り」などとされていました。時曾根区の年配者と話し「大蛇まつり」としました。

時曾根区の集落はおよそ400年前に成立したとされ、水田に囲まれているため集落への出入り道は限られ、村境に大蛇をつらし邪悪なものや疫病の侵入を防ぐ意味が込められ、道祖神と同じような目的があるとされます。

稲わらを使った伝統行事は山桑区（稲刈地区）稲荷神社の「綱かけ神事」（本紙令和3年2月号で紹介）もあります。五穀成就と書かれた木札をつらした大注連縄を鳥居前の太木にかける行事です。この行事も昭和40年代半ばに地区の人たちと相談し、「綱かけ神事」と呼ぶことにしました。

県内各地にわら蛇と綱つりの伝統行事が残っていますが、時代の移り変わりで、実施日を変更して参加しやすくなったものや、やむなく中止となり消滅した風習もあります。

已年の今年も「大蛇まつり」が継続されると聞き、紹介しました。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問 秘書課広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

人生は失うことの繰り返し

大切な友を今日も失ふ

部屋に入る初日のひかりに新しき

小さな幸を今年も願う

三が日過ぎて我が家は静かなり

寒干し大根作って過ごす

苦勞して建てたる家もいたみきて

愛着ありて一人守らん

早朝のふれあい橋を渡り行く

ウォーキングして初の景色が

先人の苦勞しのばる厚岸の

波しぶき受け枕木濡れる

冬至日の一番風呂に早々と

湯船のゆずはヒリリと肌に

石田 健治 推薦

北風に体さらして畑仕事

いつの間にやら心地よきかな

今年こそと会ふ約束をせし

友の願ひ叶はず賀状に詫びる

鈴木 志子

木下 昌子

鈴木 和子

大木ヨシ子

小川 一夫

内藤喜代美

高橋百合子

伊橋 裕子

伊橋 良子

俳句

椿 和枝 推薦

牛日に牛飼の妻送りけり

三日はや常の暮しや拭掃除

すんなりと入る鍵穴冬満月

年の瀬も新年もなき小鳥かな

しきたりは崩せぬ思ひ年用意

山茶花や父母なき家に猫のゐて

ごつごつと裸木の枝冬うらら

石田 健治 推薦

幼子の面影残し成人日

氷雨降る庭に一雀水浴びす

川柳

勝又 康之 推薦

梅焼酎甘いかおりにほろり酔う

梅の香に誘われながら君の胸

妻は留守越乃寒梅浮かれ酒

おにぎりに一番おいし干した梅

梅の花老いの心を躍らせる

手作りの梅干し食べて二十年

寒い冬蕾が耐える梅の花

石田 健治 推薦

我が女房百歳体操イキイキと

素敵ですオシャレと違うエチケツト

山崎智恵子

那須 恒雄

椎名 晴江

伊橋 勝利

岩井 やす

鈴木 志子

光瀬甲江子

須貝 玉枝

伊藤伊之助

土屋 秀雄

鶴澤 澄子

鶴野千恵子

鈴木トシ子

安藤 幸恵

江波戸京子

渡部すい子

匝瑳

スズキ発見伝

巻之七

手作りの温もり、笑顔の広がり

地域おこし協力隊員の鈴木優介さんが、匝瑳市を歩き、発見したこと、感じたことをお伝えします。

新しい匝瑳市のイベントの代名詞になりつつある「そうさハンドメイドマルシェ」。年に3〜4回ほど開催されており、昨年の11月に開催されたマルシェでは来場者数が約3000人と大盛況。約120万円の経済効果がもたらされました。

主催者は「マルシェを始めたころは用意した区画が埋まるか心配でしたが、現在では予定していた数を超える申し込みに驚いています」と話しています。13回目となる次回は2月9日（日）に

開催され、合計で45もの店舗が一堂に会します。初参加の出店者も多数おり、手作りの布小物や編み小物、アクセサリーなど、ここでしか出会うことのできないお気に入りの一点が見つかること間違いありません。イベントでは子どもが楽しめるワークショップも充実しており、私も企画を準備しています。ぜひ当日は匝瑳の里まで足を運びください。

Instagramで匝瑳市の魅力を発信中
アカウント名「@y_suzuki_sosa」

